

# マニフェスト＝政権公約

## 池田元久と民主党は約束します。

### ① 失業のない、つよい経済を再生

- ・仕事と産業を創り、失業率を4%台前半に引き下げます。
- ・住宅と車のローンの利子控除制度を04年度に創設します。
- ・「金融再生プラン」を実行、「お金を貸せる銀行」をつくります。
- ・中小企業への予算を7倍に増加、個人保証をなくします。
- ・経済再生と財政再建のプランを2年以内に策定します。

### ② 税金のムダ遣いをやめ、公正な政治を実現

- ・公共事業のムダを止め、生活と環境重視に転換します。
- ・高速道路を3年以内に原則無料化します。
- ・官僚の天下りを禁止し、開かれた公務員制度とします。
- ・利権政治を根絶し、企業・団体献金を全面公開します。

### ③ 「自立力」をもった、活力に輝く地域を創造

- ・国の補助金18兆円を廃止し、地方に用途をまかせます。
- ・食料自給率の向上を図り、農業者を直接支援します。
- ・10年間で1,000万haの森林を再生、「緑のダム」を育みます。
- ・子ども達に「一声」かけ、地域のつながりを深めてゆきます。
- ・生活道路や施設を整備し、通勤輸送を改善します。

### ④ 安心して暮らせる社会をつくる

- ・子どもを大事にし、親の不安のない教育を実現します。
- ・待機児童を解消し、学童保育も2万ヶ所にふやします。
- ・無利子の奨学金の貸与額を50%引き上げます。
- ・能力開発と月10万円の手当支給で再就職を応援します。
- ・若者からも信頼される安心の年金制度をつくります。
- ・地域介護の拠点、グループホームを1万ヶ所ふやします。

### ⑤ 国民の命と健康を守るつよい社会を実現

- ・05年に健保本人の医療費自己負担を2割に戻します。
- ・小学校卒業までの幼児・児童の医療負担を1割にします。
- ・食品の安全規制を強め、役所を一元化してチェックします。
- ・警察官を3万人増員し、落ち込んだ検挙率を回復します。
- ・自立外交をすすめ、人道支援と紛争予防に貢献します。
- ・拉致事件の解決など北朝鮮問題に正面から取り組みます。

#### 小児医療

小児救急医療体制を整備し、政権獲得後3年以内に、全国で350ヶ所以上の小児医療救急センター病院を指定して、いざという時の受け入れ体制を確立します。

また、小児に対する診療報酬の適正化を図る一方、健康保険の患者負担を、3歳未満については2割から1割へ、3歳から小学校卒業年次までは3割から1割負担へと軽減するため、05年度までに改正案を国会に提出します。必要な国の予算は約450億円と見込まれ、冗費を節減して財源にあてます。

## 3年以内に高速道路を無料化 幼児・児童の医療負担を1割に グループホームを1万ヶ所ふやす

民主党は、次の衆議院選挙に向け、マニフェスト（政権公約）を発表した。

これは、政権を獲得後、次の衆院選まで4年間に実行する政策を、数値目標や実施期限、財源を付けて示したものだ。

マニフェストの全文から大要をまとめ、左に掲げた。

民主党では、政権担当に向け、マニフェストへの理解を求めてゆく考えだ。



民主党のマニフェストについて、「数値、財源、期限つきという定義を誠実に満たそうという熱意が伝わってくる」（大手紙）と報道された。

また、各党にマニフェスト導入を提唱していた飯尾潤・政策研究大学院大学教授からは、「公共事業や補助金の削減など、国民には厳しい約束も盛り込んでおり、日本の政党ではかつてなかった公約だ。必要な財源、実現期限を示したのも評価できる。長期的安定が必要な年金制度改革で「二階建て」の基本方針を示し、そのうえで超党派の合意を目指す姿勢も政権担当に向けたやる気を感じさせる」と評価された。

#### 年金

民主党政権は、04年度から徹底した予算改革を行い、それによって生み出される財源を段階的に基礎年金に充て、5年間で国庫負担率を2分の1に引き上げます。

また、将来にわたって持続可能な年金制度とするため、すべての人を対象に①税を財源とする「一階建て」として国民基礎年金、②所得をもととした拠出額を財源とする「二階建て」としての所得比例年金を設け、老後の年金を保障します。

#### 高速道路の無料化

高速道路は、3年以内に、一部大都市を除き無料とします。これに伴い、日本道路公団、本州四国連絡橋公団は廃止します。道路公団、本四公団の債務は、現在の道路予算の中から償還します。

これにより、地域でも高速道路を使いやすくし、物流コストの引き下げ、生活の利便の向上をめざします。